

共用品推進機構だより 2016年09月30日(26)

目次

(121) 共用品推進機構関連記事

- ▽「第53回点字毎日文化賞 幅広い分野で功績／機構 元理事 木塚泰弘氏」
- ▽「ブログを更新しました！」

(122) 製品関連記事

- ▽「描いた絵動き出す デジタル玩具『おえかきアーティスト』／メガハウス」

(123) 行政関連記事

- ▽「認知症ケア、大学生が提案／渋谷区・川崎市」

(124) その他、各種関連記事

- ▽「知的障害者の業務広く／アマダHD」

(125) 新刊紹介

- ▽『発達障害とはなにか 誤解をとく』
- ▽『運命を切りひらくもの』
- ▽『アスペルガー症候群の人の就労・職場定着ガイドブック
適切なニーズアセスメントによるコーチング』
- ▽『自立と希望をともにつくる 特別支援学級・学校の集団づくり』
- ▽『発達障害児のための SST』
- ▽『今からでも大丈夫！知的障がい・発達障がいは改善できる』
- ▽『大きな字でわかりやすい Facebook 超入門』

(121) 共用品推進機構関連記事

▼「第 53 回点字毎日文化賞 幅広い分野で功績／機構 元理事 木塚泰弘氏」

視覚障害者の文化や教育、福祉の向上に貢献した個人・団体を表彰する「第 53 回点字毎日文化賞」の受賞者に、日本点字委員会会長の木塚泰弘氏（全盲）が選ばれた。

選考委員会は、木塚氏の教育をはじめとした幅広い分野での功績を高く評価。全会一致で受賞者に選んだ。

（点字毎日活字版 9 月 29 日 1 面より抜粋）

▼「ブログを更新しました！」

・千葉県 28 年度「涼の会」総会で講演
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

（1 2 2）製品関連記事

▼「描いた絵動き出す デジタル玩具『おえかきアーティスト』／メガハウス」

メガハウスが発売した、お絵描きができるデジタル玩具。9 型の液晶画面に付属の専用ペンで描いたりスタンプを押したり、自由に創作できる。使用できる色は 96 色。

幅広い年齢で遊んでもらうために、10 種類のモードを用意した。デジタル玩具ならではの目玉機能は「動く絵」モード。例えば水族館の背景を選び、魚を描いて「できた」ボタンを押すと、まるで魚が泳いでいるかのように動き出す。背景は 6 種類。

ほかには平仮名の練習ができる「もじなぞり」モードや、複数の絵をコマ送り再生する「パラパラアニメ」モードなどがある。本体にはカメラが搭載されており、撮った写真の上に落書きする機能もある。

（日経産業新聞 9 月 28 日 17 面より抜粋）

（1 2 3）行政関連記事

▼「認知症ケア、大学生が提案／渋谷区・川崎市」

東京都渋谷区と川崎市は認知症の高齢者が社会と共生していくため、大学生らがフィールドワークを通じて提案したアイデアを2017年度以降の施策に生かす試みを始める。認知症高齢者が安心して暮らせる街づくりは全国共通の課題で、他の地域にも広げられる施策の考案を目指す。

(日経MJ 9月23日9面より抜粋)

(124) その他、各種関連記事

▼「知的障害者の業務広く／アマダHD」

板金機械大手のアマダホールディングス(HD)は知的障害や精神障害を持つ人の雇用に力を入れている。清掃活動から郵便物の仕分けに業務を広げ始めた。障害者への仕事を指導する要員も増やす。

面談などで個人の得意不得意を調べ、本人の希望と適性を反映させた仕事を任せる。

昨夏からは文字の読み書きができる人の新しい仕事を試験的に取り入れた。中長期ではパソコンを使った入力作業まで広げることを狙う。

(日経産業新聞 9月26日27面より抜粋)

(125) 新刊紹介

▼『発達障害とはなにか 誤解をとく』

発達障害の若者たちの生き方を何人もの事例で説明し、世間や支援者の誤解をとく。また、発達障害の各症状、近年の脳・遺伝研究等も紹介し、症状と原因について正しい情報を提供する。発達障害の歴史にも触れる。

著：古荘純一（ふるしょう・じゅんいち）

発行：朝日新聞出版

本体価格：1500円（税別）

ISBN：978-4-02-263048-3

▼『運命を切りひらくもの』

出逢いこそ運命。魂がぶつかって生まれるもの。「言葉」を自らの生きる糧として歩んできたベストセラー作家と全盲ろうの東大教授が語り合う。

『致知』掲載の3回の対談と、2度のバーでの歓談を収録。

著：北方謙三（きたかた・けんぞう）福島智（ふくしま・さとし）

発行：致知出版社

本体価格：1200円（税別）

ISBN：978-4-8009-1121-6

▼『アスペルガー症候群の人の就労・職場定着ガイドブック
適切なニーズアセスメントによるコーチング』

多くのアスペルガー症候群の人たちの就労支援を行ってきた著者が、彼らが抱える困難を把握し、どのような支援を行えば適切な職に就くことができるかを、1人ひとりの事例から臨床的にまとめる。書き込み式のワークシートあり。

著：バーバラ・ビソネット

監修：梅永雄二（うめなが・ゆうじ）

発行：明石書店

本体価格：2200円（税別）

ISBN：978-4-7503-4388-4

▼『自立と希望をともにつくる 特別支援学級・学校の集団づくり』

支援学級・学校の取り組みを通して集団づくりの見通しを示し、生活指導や集団づくりの核となるポリシーを提起。さらに、インクルーシブ教育時代の動向に触れ、障害児の自立にとって支援学級・学校が果たす意義を検討する。

編著：湯浅恭正（ゆあさ・たかまさ）小室友紀子（こむろ・ゆきこ）

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-86342-192-9

▼『発達障害児のための SST』

ASD（自閉スペクトラム症）およびASDと関連する状態を呈する子どもとティーンエイジャーにソーシャルスキルを教える上での実践的アプローチとアドバイスを提供する。附録「コピーできる記入フォーム」付き。

著：スーザン・ウィリアムス・ホワイト

監訳：梅永雄二（うめなが・ゆうじ）

発行：金剛出版

本体価格：3200円（税別）

ISBN：978-4-7724-1500-2

▼『今からでも大丈夫！知的障がい・発達障がいは改善できる』

子どもの可能性を信じて、理に適った方法で指導しさえすれば、知的障がい・発達障がいは必ず改善する。長年、知的障がい児・発達障がい児の改善指導に取り組んできた著者が、指導方法や改善例を紹介する。発達検査表付き。

著：鈴木昭平（すずき・しょうへい）

発行：ロングセラーズ

本体価格：1400円（税別）

ISBN：978-4-8454-2393-4

▼『大きな字でわかりやすい Facebook 超入門』

Facebookを始めたいシニアに向けて、楽しむための必要最低限のテクニックを網羅。登録や情報発信、交流、活用のしかたなどが、手順の番号を追うだけでわかる。安全対策やスマホ・タブレットでの使い方も説明する。

著：松延健児（まつのぶ・けんじ）

発行：技術評論社

本体価格：1280円（税別）

ISBN：978-4-7741-8284-1

（編集後記）

- ・日本脳卒中者友の会の理事長である石川敏一さん宅を訪問しお話を聞く機会に恵まれた。

集合住宅のお宅には、天井から床までの強固なつかえ棒が、室内の移動を行うために、絶妙な位置に設置されており、ゆっくりだが、一步一步確認し

ながら目的の場所に移動。

- ・麻痺した側の指の爪を切るには、爪切りの穴の部分に画鋸を刺し固定し、麻痺していない側の足を使って切ると、実践して見せてくれた。
- ・ハーモニカで「ふるさと」を、伴奏と主旋律を同時に片手で演奏してくれた演奏も見事だった。

1時間の予定が、気づけば2時間半。脳卒中になってからの40年間の戦いは壮絶ではあるが、他人を元気にさせる力を持った話であった。

- ・石川さんが理事長をつとめる会で、今年で14回目となる「全国脳卒中者の集い」が、10月23日（日）午後、神奈川県立保健福祉大学で行なわれる。先日の話しの続きを聞きに行くことを楽しみにしている。

<http://noutomo.com/wp/wp-content/uploads/2016/09/f8368731729253cd5be28c0d05d1>

0e5a.pdf

<http://noutomo.com/>

(星川安之)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>